

1 最近の幼児の姿

興味・関心・遊びの姿

運動会で鉄棒，縄跳び，一輪車，登り棒の中から自分が選んだ種目に挑戦し，できた喜びや認めてもらえた満足感を味わった。そのことが次の意欲につながり，さらに上達しようと取り組んでいる。また，別の種目にも新たに挑戦している幼児が半数ほどいる。また，トイレのスリッパ並べや絵本の部屋の片付け等，使ったものを元に戻すことが習慣化してきた。整理できていない場合には，気付いた幼児が整理し，きれいになっている心地よさを感じている。

リレーを楽しむ中で，人数を合わせたり，チーム替えをしたりしながらルールを守って遊ぶ楽しさを味わっている。勝ち負けにこだわる幼児もいるが，同じようなレベルになるように速いもの同士がジャンケンをして分かれたり，話し合ってチームを決めたりする姿も見られるようになった。チームごとに作戦をたてて競う姿も見られた。

また，4，5名の幼児が中心になり，全員で踊りの振り付けを話し合っただけで決めた。一度決まった振り付けを，何度も変えながら楽しんでいる。

オシロイバナの種を割って化粧をしたり，花の種を食べ物に見立てたりしてままと遊びを楽しんでいる。また，来年花を咲かせようと，自分の植木鉢に種を蒔いたり，持ち帰ったりする幼児もいる。

楽しかったことの発表では，「竹馬が楽しかったです。」「ダンゴを作ったことが楽しかったです。」等と言っていたが，「竹馬で階段を歩けたことが～。」「大きなダンゴを作ったことが～。」等，内容をより具体的に言える幼児が増えてきた。

テーマに関する姿

運動会の遊戯や競技に竹バチや長い竹筒の太鼓を使ったこともあり，以前よりも竹太鼓の音色を楽しむ幼児が増えた。どの竹太鼓も音色が違うので，自分好みの音色を探し，自分のリズムでならしたり，好きな曲に合わせて音をならしたりする楽しさを味わっている。

好きな歌を歌ったり，ラジオカセットで音楽をかけたりしながら竹馬や縄跳び，バンブーダンス等を楽しんでいる。また，竹馬や縄跳びをしている友達のリズムに合わせて歌ったり，友達が歌うリズムに合わせてしようとしたりと，お互いを意識し合いながら楽しむようになってきた。

集めたアサガオやオシロイバナの種，ドングリ等の木の実をペーパー芯や空き容器に入れてマラカス等の楽器を作り，市販のマラカスや手作りの竹楽器と一緒に音の違いを楽しんでいる。

2 期のねらいと内容（8期 5歳児 9～10月）

表現 テーマに関するものを抜粋

感動したことを自分なりに表し，友達と伝え合いながら楽しむ。

- ・ 友達と一緒に気に入った歌を選んで歌ったり，振り付けを考えて踊りを楽しんだりする。
- ・ 曲のイメージにあった楽器を選んで演奏する。

ねらい	友達と考えを出し合ったり，イメージを共有したりしながら音楽遊びを楽しむ。
内容	親しみのある曲に合わせていろいろな遊びを楽しむ。 踊り方や楽器のならし方を友達と考えながら遊ぶ。 BGMや自分の歌等に合わせて，竹馬やバンブーダンス，手合わせ遊び等をする。

時間	一日の生活の流れ	予想される幼児の姿：本日までの遊びの様子と教師の願い
13:00	<p>好きな遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器遊びをする。 ・ リズムに合わせて竹馬やバンブーダンス等をする。 ・ 歌を歌ったり，手合わせ遊びをしたりする。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>おさるの ジョージの おうち</p> </div> <p>楽器遊びをする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分のリズムや音楽に合わせて楽器をならし楽しんでる。友達のリズムに合わせてたり，ならし方を話し合ったりしながら楽しんでほしい。</p> </div> <p>* ラジオカセット及びカセットテープ「崖の上のポニョ」「おなかのへるうた」等を準備する。 * 楽器の数を調整する。 T 歌を歌ったり，ラジオカセットで音楽をかけたり等し，友達と一緒に楽しむことができるようにする。</p> <p>リズムに合わせて竹馬やバンブーダンス等をする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分の好きな歌を歌いながら歩いたり跳んだりして楽しんでる。自分のリズムだけでなく，友達が歌うリズムにも合わせながら楽しんでほしい。</p> </div> <p>* 竹馬の乗り場に使う巧技台やバンブーダンスの竹を保育室前に出しておく。 * ラジオカセット及びカセットテープ「崖の上のポニョ」「どんぐりころころ」等を準備する。 T リズムに乗って楽しむことができるように，BGMに合わせて歌を歌ったり，幼児が歌っている歌と一緒に歌ったりする。</p>
13:40	<p>片付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 排泄，手洗い，うがいをする。 	<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
14:00	<p>集まりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌 ・ 手合わせ遊び 等 <p>絵本の読み聞かせを聞く。 「おおきなきがほしい」</p>	<p>歌を歌ったり，手合わせ遊びをしたりする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>歌：歌詞のイメージを膨らませながら歌うことを楽しんでる。2グループに分け，聞き合いながら楽しんでほしい。 手合わせ：当番のリズムに合わせて楽しんでる。ペアでお互いのリズムに合わせて楽しんでほしい。</p> </div> <p>* 向かい合わせて並べる。 T 相手がいらない幼児がいれば，相手を見つける。</p>
14:20	<p>降園準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手遊び 	
14:25	<p>保護者と一緒に歌う。</p> <p>「おなかのへるうた」</p>	
14:30	<p>降園する。</p>	

3 週案(10/20~10/22)

今週のねらい	<p>いろいろな楽器を使ってリズム打ちや歌を楽しむ。</p> <p>相手のリズムに合わせて手合わせ遊びをする楽しさを味わう。</p>	内容	<p>自分で選んだ楽器を使って友達のリズムに合わせる。「みなさん」等 「どんぐりころころ」「こおろぎ」の歌を歌いながら楽器を使う。 「アルプス一万尺」をする。</p>
環境の構成と教師の援助	<p>楽器は竹楽器を中心にし、市販の楽器を含める機会も作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 竹楽器...竹カスタネット、竹琴、竹風鈴、竹太鼓 市販の楽器...スズ、カスタネット、タンブリン、トライアングル、ウッドブロック、フィンガースィンバル、クラベス、ギロ、カウベル、シンバル <p>保育室の竹琴を増やしておく。 「どんぐりころころ」はリズムに合わせて歌いながら楽器をならすようにする。 「こおろぎ」は鳴き声の部分のみを楽器をならすようにする。</p> <p>集まり時に、教師と1対1で「アルプス一万尺」を楽しむ機会をもつようにする。 遊び慣れている幼児は、テンポを早くして楽しむことができるようにする。</p>		
日	20日(月)	21日(火)	22日(水)
幼児の活動	<p>音楽を聞く。 ・ラジオカセットで気に入った曲を聞く。 歌を歌う。 ・BGMを聞いて歌う。「青い空に絵を描こう」 楽器を使う。 ・竹楽器を自分のリズムや曲に合わせてならす。 ・「みなさん」竹カスタネット、竹琴、竹風鈴、竹太鼓</p>	<p>・「青い空に絵を描こう」 ・Tのリズムの真似をする。 ・「みなさん」友達が真似し易いようにたたく。竹カスタネット、竹琴、竹風鈴、竹太鼓</p>	<p>・「ポニョ」「アイダアイダ」「なろうぜ忍者」を聞きながらダンゴ作りをする。 ・猫ごっこにスズを使う。</p>
絵本	かさぶたくん	もりのなか	またもりへ
歌	こおろぎ、まつぼっくり、おなかのへるうた、アルプス一万尺	こおろぎ、まつぼっくり、おなかのへるうた、アルプス一万尺	こおろぎ、まつぼっくり、おなかのへるうた、アルプス一万尺
反省考察	<p>登園後、A児が竹太鼓を2拍のリズムでならし、音色を聞いて楽しんでいた。Tと一緒にならし、他児とならすように促せば、より楽しめたかも知れない。A児は「みなさん」でも竹太鼓を選ぶ。</p> <p>新しいカセットテープ入れを戸外にもって行っていいことを話すと、B児、C児がそれぞれにラジオカセットをもって喜んで戸外へ行く。「ポニョ」「青い空に絵を描こう」等を聞いたり、歌ったりと二人で楽しんでいた。Tと一緒に歌うと、D児、E児も砂遊びをしながら歌った。遊んでいる場が違っても歌う楽しさを共有できている。</p> <p>Tが「ぼくらはみんな」と歌いだすとF児が「生きている」と歌う。その後、最後まで分担唱を楽しんだ。F児は、Tがどこまで歌うかタイミングを計りながら歌っていた。</p> <p>「おさるのジョージのおうち」の前でTが竹太鼓をたたいていると、A児、F児、G児、H児も加わって一緒にたたく。Tが「タタタ タタタ タタタ」のリズムでならすと、それを真似て一緒に楽しんだ。4人でリズムを合わせるように促したが難しかった。今後も機会を作っていく。</p> <p>F児、H児、I児が「ポニョ」「アイダアイダ」を踊る。「ポニョ」の振りにはF児が姉から教えてもらったようである。クラスで披露する機会を作りたい。</p> <p>6、7名の男児が、年中Tに「気分はメリーゴーランド」の踊りを見せる。さらに、竹カスタネット、スズ、タンブリンを持って楽器をならしながら踊る。B児は、「次は、スズ!」「次はカスタネット」等と指示する。持っている楽器ごとに分かれて踊りたかったようである。</p> <p>F児が「ポニョを聞きたい。」とラジオカセットを保育室から持ってきて「ポニョ」と「青い空に絵を描こう」を聞く。Tと一緒に歌うと、より大きな声で歌う。側でダンゴ作りをしていたJ児は、聞きながら作る。Tと目が合うと、笑顔を見せていたので、聞く心地よさを味わっていたのだろう。</p> <p>D児、K児、L児が「おさるのジョージのおうち」で猫ごっこをする。それぞれにスズを持ち、走る時のスズの音を聞いて、猫のイメージを膨らませていたようである。</p> <p>降園前の集まり時に、準備ができた順に「アルプス一万尺」を始めると、全員がいつもより早く降園準備を終える。どの幼児も「アルプス一万尺」を楽しむようになってきている。今後も繰り返し楽しんでいきたい。</p>		